

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 139 道徳 239 道徳 339 道徳 439 道徳 539 道徳 639	みんなのどうとく1ねん みんなのどうとく2年 みんなのどうとく3年 みんなの道徳4年 みんなの道徳5年 みんなの道徳6年
取 扱 内 容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、自分が元気だと感じるのはどのようなときか、自分の命を宝物と感じるのはどのようなときかを考える活動等、第3,4学年では、自分の命はどのような人たちに支えられていると思うか、命がつながっていることについてどのようなことを思うかを考える活動等、第5,6学年では、命の大切さを感じたことはどのようなことがあるか、病気やけがと闘っている人からどのようなことを感じるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1,2学年では、生き物を大切にできたときどのような気持ちだったか、身近な動物や植物のために自分たちにできることは何かを考える活動等、第3,4学年では、限りある自然を守るためにできることは何か、生き物が支え合って生きていることをどのように思うかを考える活動等、第5,6学年では、地球環境を破壊する心や守る心はどのような気持ちから生まれるか、自然環境を大切にするには何ができるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分の生まれ育った町のどのようなところが好きか、日本の行事で好きなものは何かを考える活動等、第3,4学年では、どうして日本人は食文化を大切にしてきたか、日本に昔から伝わるもののよさはどのようなところかを考える活動等、第5,6学年では、自分たちが受け継ぐ日本人の心にはどのようなものがあるか、古くから日本で大切にされているものにはどのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1,2学年では、スマートフォンなど遠くにいる人とつながることができる便利なものを使うときどのような約束があるか、間違ったことが広まるとどのようなことになるかを考える活動等、第3,4学年では、約束を守るために必要なことや情報が広く知られてしまうとどのようなことが起きるかを考える活動等、第5,6学年では、インターネットやスマートフォンを楽しく安全に使うためのルールは何か、気を付けなくてはいけないことは何かを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、話し合いや記述、発表などの課題を示す「学び方のページ」を設置し、問題解決的な学習については、問題解決的な学習の筋道を紹介する「学び方のページ（深めよう）」を設置し、体験的な学習については、道徳的行動に関する体験的な学習を取り入れた「学び方のページ（やってみよう）」を配置し、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは9教材、Dは6教材、Eは1教材、全体で35教材であり、総ページ数は128ページとなっている。 第2学年～Aは11教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは6教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は132ページとなっている。 第3学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは6教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は148ページとなっている。 第4学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは6教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は152ページとなっている。 第5学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは8教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は160ページとなっている。 第6学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは8教材、Eは1教材、全体で36教材であり、総ページ数は164ページとなっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 各学年に、心に残ったことや自分が考えたことなどを記入する「心の宝物」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、保護者が記入する欄を設けるなどの家庭と連携する学習活動を提示した「家マーク」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「新渡戸稲造」など3箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめ問題については、心遣いや思いやりを、どのような形で伝えられるかを話し合う活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。